

めはえ

2019. 5. 15

ひなご幼稚園園長 神戸洋美

家族が社会の基本

今年のゴールデンウィークは10連休でした。街でのアンケートでも長いお休みに喜ぶ人、逆に何をしようか困ってしまった人など半々に分かれていきました。幼稚園としても初めての10日間で、冬休みに続く長い連休のため心配していましたが、連休中は事故もなく、園児全員が元気な顔で幼稚園に戻ってきてホッとしました。天気の良い日は戸外で遊び、少しずつ園生活のリズムも整いつつあります。



さて、連休中はご家族で動くことも多かったと思います。遊園地や動物園、レストランやショッピングセンター等、大勢の人の中に入していく機会も多くあったのではないでしょうか。他人の中での行動、となれば当然公共マナーを守らなければなりません。そういう場所に出かけることは、お子さんたちにとって公共マナーを学ぶ良い機会だと思います。

特に連休中は大勢の人が押しかけますから、まず並ぶことから始まります。並ばない人や割り込んだりする人もいます。行楽地ではゴミを持ち帰らない人、そこら辺に捨ててしまう人、マナー違反はあちこちで見られます。そんな大人を子どもたちはしっかり見ています。

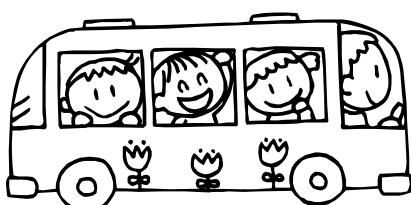
周囲でマナー違反をする人に囲まれている子どもは、それが当たり前と思ってそのまま成長します。お互いに譲り合い他人への配慮を忘れず、きちんとマナーを守る人たちに囲まれているお子さんは、大人になってもそうすることが自然に出来ます。社会生活の基本は家族から、だと思います。我々大人は、常に見られていることを意識する必要がありますね。

離れていても家族！

この連休に一番下の娘夫婦が、婿のご両親と共に我が家にやってくることになりました。実は婿とご両親はオーストラリア人。食事は？泊る所は？英語が喋れない！と不安な連休を迎えることに・・・。

まず連休前に大掃除です。空いている部屋を主人が時間を見つけては掃除をし、寝具のシーツやカバーを新品に交換して、なんとか宿泊準備を整えました。初日の朝食は朝マックで、と氣を遣いましたが、次の日からは我が家で朝食。「えっ、こんなに散らかった台所で食べるの？いいの？」。(冷や汗)

お風呂に案内してもシャワーだけで時間はわずか5分。さらにゆったりしてもらおうと用意した部屋には行かず、寝るまでこちらの応接間でTVゲームやスマホに熱中し、孫たちとみんなでワイワイ。孫たちの方が英語は話せなくとも仲良くなつて、逆に私たちは話しかける勇気がなくドギマギ。ご両親に話しかけられても頭の上には??が3つで、なんだか居場所もなくて・・・。更に応接間の机は丁度良い高さなのでしょうか、「えっ、そこに足をのせる？」と外人の長い脚の置き場となり、生活習慣と言葉の違いに戸惑うことばかり。全員集合すると4人の子どもたち夫婦と孫たちで総勢21人。マイクロバスを借りて2日間、ちょっとした団体旅行に出かけました。連休中の天気はイマイチでしたが、逆にそれほど混雑もなく、名古屋城・なばなの里・明治村など近場を回って楽しんでいただきました。



5日間の滞在を終えて、娘夫婦とご両親は娘たちの住んでいる博多へと無事にご帰還。遙か6800kmも離れた同士が家族になって一緒に時間を過ごす。人生は不思議がいっぱいです。家族とゆっくり過ごすことが出来、改めて家族の愛情や絆を感じ喜びの休日となりました。

今月のヒント！ * 今年度は「アンミカ流ポジティブ脳の作り方」の本から紹介していきます。

「自分に起こることはすべて神様からの“贈り物”」

繰り返し現れる壁は、「あなたなら乗り越えられる」というサイン。一見、不幸と思える出来事も、必ず、その人の糧になる。「神様はその人に乗り越えられない壁はお与えにならない」とのことです。

